平等電界

平等電界

図 1 のように平行な 2 枚の電極板を置いて

電極間に電圧をかけると、

電極の間に **電界** が発生します。(＊1)

この時、平行板電極間の 電界の強さE は、

電極からの距離に関係なく どこも 一定 に

なります。

このように、

電界の強さが一定の場を **平等電界** と言います。

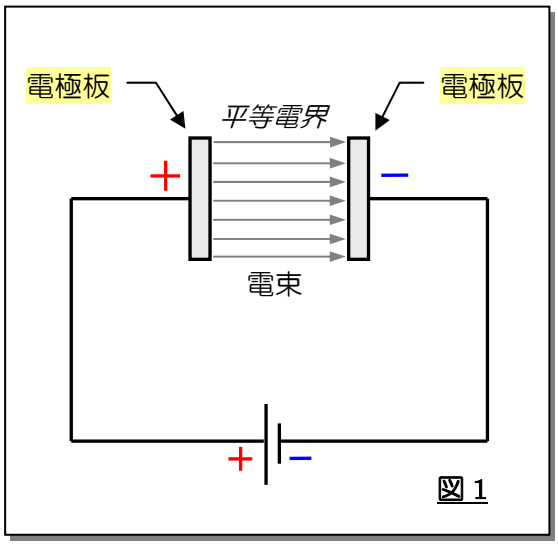


図 1

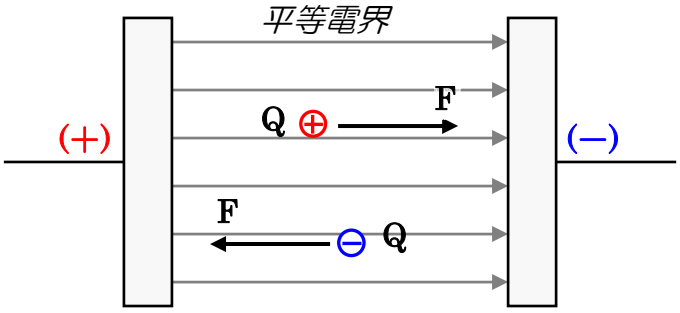
電束は (＋) から出て (－) に入ります。

つまり、図 1 のように電界の向きは (＋) → (－) になります。

平等電界中の電荷にはたらく力

図 1 の平等電界中に電荷を置いた場合、電荷には 静電力 が働きます。

(その静電力をあらわす公式は $F = Q E$ になる)



平等電界中に⊕の電荷を置くと、これに静電力が働いて ⊕の電荷は(－)極に移動する。

⊖の電荷を置くと、これに静電力が働いて ⊖の電荷は(＋)極に移動する。

注釈

(＊1)

図 1 のような、2 枚の平行な電極板を置いて 間に絶縁物を挟んだものを 平行板コンデンサ と言う。